

常時、1対1のケアをしなくても、利用者は、誰かしらの目に届くところで活動できて、緊急事態が生じて、看護師が配置されており、必要な手当てはすぐに行われる安心感がある。長時間継続したケアの提供ができる通所サービスでは、重度障害者の活動が広がり、また家族に与える安心感やレスパイトの意味は大きいと考えられる。

#### 6) 事業所間の連携によるケアミックスの実現

事例2、事例3、事例4では同一法人から看護・介護サービスが提供されていた。これらの法人では、ミーティングなどを合同で開催し、また看護師がヘルパーに対して研修、指導を行う関係にある。また、法人として重度障害者の在宅生活を支えていくという理念を共有できている。そのような理念のもと、看護、介護職、それぞれの専門性を活かし何をやるべきか、そのために何を学ぶべきかを考える姿勢ができています。この点は、母体となる法人は違うが事例1にも共通すると言えるだろう。

## E. 結論

在宅重度障害者及び家族の生活実態とニーズのアンケート調査及び事例調査(サービス提供時間帯の1分間タイムスタディとインタビュー調査)をとおして理想的ケアミックスモデルについて取り纏めた。

在宅重度障害者への理想的なケアミックスを実現するためには、在宅重度障害者個々に本人の代弁者たるキーパーソンの存在が不可欠で、家族がケアマニュアルそのものと言っても過言ではない状況もある。在宅重度障害者と家族をユニットとして考えたケアマニュアルも必要ではないかと考える。

在宅重度障害者は医療ニーズと介護ニーズを併せ持っているため、看護師、医師や理学療法士、ホームヘルパー等で成り立つチームアプローチが機能しなければならない。個別に作成されたケアマニュアルによって、ケア目標や情報の共有と、看護・介護職員が各機能に応じた役割分担と専門性を発揮することができる。また、利用者にとってケア提供者が変更しても、通所サービスや一時入院サービスを利用する場合でも統一したケアを受けることが可能となる。

家族介護者にとっても、決められた時間にケアを利用できるので、生活リズムが保持できると考える。

在宅重度障害者の通所サービスにおいても、数時間の滞在中に健康観察をはじめ、様々なアクティビティや食事・排泄・入浴等の生活援助、吸引等の医行為が発生する。一人ひとりの重度障害者に対して活動・ケア計画が作成され、看護職員と介護職員の機能が発揮できれば、安全で良いケアが提供でき利用者や家族の安心感と満足感につながる。

看護職員は病状や健康状態の観察、疾病管理を行って、症状コントロール、救急対応、食事・排泄・気分などの観察及びケアを行う。また、在宅では家族支援も重要な役割となる。

在宅重度障害者は医療を切り離すと生活が成立たないが、本人らしく活動できるように、家族の介護負担が軽減できるように、長時間、頻回に関わる介護職員の役割は大きい。看護職員が看護の機能を果たすことで、協働する介護職員が、安心して、自らの専門性に根ざす介

護を实践できると考える。なお、在宅重度障害者及び家族の在宅生活継続を支援するために、ホームヘルパーが吸引という医行為を実施せざるを得ない事例もある。厚生労働省医政局通知に従って、ホームヘルパーは本人・家族の同意の下に、訪問看護計画にもとづき看護師が個別に技術指導したり相談に応じたり実施状況を見守りながら協働する必要がある。

今後は、看護と介護の専門性を尊重しあつた理想的なケアミックスの実現に向けて、ケアマニュアル・ケアプランモデル、ケアミックスの研修プログラムが求められる。

---

i) 平成 15 年度厚生労働省老人保健推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）「介護事業所における小規模多機能化事業（通所看護等）の検証」、平成 16 年度厚生労働省老人保健推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）「介護事業所における小規模多機能化事業（通所看護等）の開発・普及事業」

## 生活実態とニーズ調査

質問文を読み、当てはまる選択肢に○をつけてください。○をつける数は、質問文に記載していますが、特に記載がない場合は、1つに○を付けてください。

設問によっては、具体的な内容や数字を記入していただく部分もあります。本調査は特に断りがない限り、記入日時点の状況についてご記入ください。本調査は無記名式となっております、記入者は特定されません。また、ご記入いただいた内容については、個人が特定されない形で分析され、公表される予定です。

なお、本調査に協力できない場合は、記入せずに調査票を破棄していただいて結構ですし、その旨の連絡も不要です。可能であればご協力ください。

◆お問合せ先◆  
財団法人日本訪問看護振興財団 研究担当 佐藤、佐々木  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5階  
電話 03-5778-7004 (直通) FAX03-5778-7009

記入者	1. 本人 2. その他 ( )
記入日	( ) 月 ( ) 日

### 1. まず、介護者の心身の状態をお伺いします。

01 年齢	( ) 才	02 性別	1. 男性 2. 女性
03 続柄	1. 親 2. 配偶者 3. 子 4. 子の配偶者 5. きょうだい 6. その他 ( )		
04 病気の有無	1. あり ( ) 2. なし		
05 要介護度	1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3 4. 要介護4 5. 要介護5 6. 要支援 7. なし		
06 疲労感	1. 非常に疲労感がある 2. 疲労感がある 3. なし		
07 負担感	1. 非常に負担である 2. 負担がある 3. なし		
08 平均睡眠時間	1日 ( ) 時間 ( ) 分		
09 直近のレスパイト	1. なし 2. あり → 平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日		

### 2. 次に、介護者の生活の状況についてお伺いします。

Q10 就労の有無	1. 無職 (介護に関係なく無職) 2. パートタイム就労 3. 介護のために退職した 4. 1日8時間以上の勤務(会社員・自営業等)
Q11 在宅療養において経済的負担の有無	1. 特に負担ではない 2. 在宅療養は経済的に負担である (→具体的に: )
Q12 療養者の病気や生活についての相談相手はいますか。(全てに○)	1. 療養者 2. 家族 3. 医師 4. 看護師 5. 保健師 6. ヘルパー 7. 同じ病気を介護する家族 8. 友人 9. その他 ( ) 10. いない

### 3. 介護の状況についてお伺いします。

Q13 1日の介護時間	1日 ( ) 時間 ( ) 分
	【内訳】
	① 吸引 ( ) 時間 ( ) 分
	② 食事 ( ) 時間 ( ) 分
	③ 排泄 ( ) 時間 ( ) 分
	④ 清拭・入浴 ( ) 時間 ( ) 分
	⑤ 更衣・整容 ( ) 時間 ( ) 分
	⑥ 会話・コミュニケーション ( ) 時間 ( ) 分
	⑦ その他 ( ) 時間 ( ) 分
Q14 夜間介護の必要性	1. 夜間は介護を行っていない 2. 夜間も介護を行っている (→具体的に: )
Q15 1日の自由時間	1日 ( ) 時間 ( ) 分
Q16 介護を精神的にサポートしてくれる人	1. いない 2. いる (→具体的に: )
Q17 介護を実際に手伝ってくれる人	1. いない 2. いる (→具体的に: )
Q18 自分の介護技術について感じる事	具体的に:
Q19 医療機器の扱いの習熟について	具体的に:
Q20 今後の在宅介護の意向	1. 今後もできるだけ在宅での生活を継続させたい 2. 入院・入所させたい

4. 利用中のサービスについて、介護者からみた評価を教えてください。

<p>Q21 かかりつけ医についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に：</p>
<p>Q22 短期入院・短期入所の受け入れ先についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>
<p>Q23 訪問看護師についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>
<p>Q24 ホールバーについての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>

5. 現在、困っていることについてお伺いします。

<p>Q25 症状の変化や今後に対する不安の有無</p>	<p>1. 今後のことについて不安は非常に大きい 2. 今後のことについて不安はある 3. 今後のことについてあまり不安はない 4. 今後のことについて不安はない</p>
<p>Q26 在宅療養をめぐる他の家族・親戚との関係(価値観、意見の相違や不和の有無)</p>	<p>1. 療養者の在宅療養の継続について、家族と意見が異なる 2. 療養者の在宅療養の継続について、家族と意見が一致している 具体的に：</p>
<p>Q27 現在、利用しているサービスで、もっと多く利用したいサービス</p>	<p>具体的に：</p>
<p>SQ 上記のサービスが利用できない理由(複数回答可)</p>	<p>1. サービスを提供できる人が少ない 2. 経済的な理由で、利用回数(時間)が制約される 3. その他→具体的に： [ ]</p>
<p>Q28 今は利用していないが、利用したいサービス</p>	<p>具体的に：</p>
<p>SQ 上記のサービスが利用できない理由(複数回答可)</p>	<p>1. 近くにサービスを提供している人がいない 2. 経済的な理由で、利用しにくい 3. その他→具体的に： [ ]</p>
<p>Q29 その他、療養者の病気や、ご自身の生活について、思うことがあれば、ご自由にご回答ください</p>	

ここからは療養者の状況についておたずねします。

6. 記入日時点での療養者の心身の状態をお伺いします。

Q30 年齢	( ) 才	Q31 性別	1. 男性	2. 女性
Q32 病名	( )			
Q33 直近の入院 (過去3年以内)	1. なし 2. あり→平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日～ 平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日			
Q34 直近の入院の 目的	1. 常時、医学的管理が必要になった 2. 合併症 3. ケア方法の変更 4. レスパイト 5. 介護者の都合 (冠婚葬祭、病氣、事故等) 6. その他 ( )			
Q35 現在の医療機 関の利用状況	1. 通院している 2. 在診してもらっている 3. 特に医療機関は利用していない 具体的に:			
Q36 使用している 医療機器				
Q37 介助の必要度	1. 介助は特に必要ない 2. 生活の一部に介助、手助けが必要である 3. 生活のほぼ全てに介助、手助けが必要である			
Q38 介護者との同居の有無	1. 同居している 2. 同居していない			
Q39 要介護度	1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3 4. 要介護4 5. 要介護5 6. 要支援 7. なし			
Q40 身体障害者手帳の有無	1. あり ( ) 級 2. なし			

7. 医療の状況、身体の状態と日常生活動作の状況についてお伺いします

Q41 呼吸管理	1. 気管切開の人工呼吸器	2. マスク型	3. なし
Q42 人工呼吸器の 装着時間 (複数回答可)	1. 24時間装着 3. 苦しいときのみ装着	2. 離脱可能 (離脱時間: ) 分 4. 寝るときのみ装着	5. なし
Q43 食事	1. 経管栄養 4. 軟食・さざみ食	2. 経管栄養と経口摂取 5. 普通食	3. 流動食
Q44 排便介助	1. オムツのみ 4. 介助でトイレに行く	2. オムツと便器 5. 独力で普通に使用する	3. ポータブルトイレ
Q45 排尿介助	1. バルン留置 4. ポータブルトイレ	2. オムツ 5. 介助でトイレに行く	3. 尿器使用
Q46 排便の状況	1. 便秘 3. 下痢	2. 宿便 4. その他の問題 ( )	5. 問題なし
Q47 排尿の状況	1. 頻尿 2. 排尿痛	3. 乏尿 4. その他の問題 ( )	5. 問題なし
Q48 起立・歩行	1. 不可能 4. 出来るが、遅い	2. かなりの介助を要す 5. 独力で普通に使用する	3. かるうじて可能
Q49 座位保持	1. 不可能	2. 可能 (→ ) 分・時間	
Q50 行動範囲	1. ベッド上のみ 4. 病院受診ができる	2. 車椅子に座る 5. 旅行ができる	3. 外に出られる
Q51 入浴	1. 清拭のみ 4. 介助で入浴	2. 入浴車 5. 普通にできる	3. シャワー浴
Q52 更衣	1. 全介助	2. 一部介助	3. 自立
Q53 整容	1. 全介助	2. 一部介助	3. 自立
Q54 コミュニケーション	1. 全く意思疎通できない 3. ほぼ意思疎通できる	2. おおむね意思疎通できる 4. 十分意思疎通できる	
Q55 コミュニケーション 手段	1. なし 4. 筆談	2. まばたき文字板使用 5. 会話可能	3. コミュニケーションボード・ワープロ使用 6. その他 ( )
Q56 緊急時への備 え・準備してい ること (複数回答可)	1. 介護者が衛生術を身に付ける 3. 予備の機器の準備 5. 二重フェニター 7. 緊急連絡網の準備	2. 電源確保・自己発電機の準備 4. アンジェットの準備 6. アラーム作動時の対応方法の習熟 8. その他 ( )	

8. 利用中のサービスについてお伺いします。

<p>057 サービスの利用状況 (利用しているサービスの番号に○をつけ、1.~6.については今月の利用頻度を記入してください。) 7.は過去1年間の利用の有無 8.はこれまでの利用の有無</p>	<p>1. ホームヘルプ (訪問介護) (週 回) 2. 訪問看護 (週 回) 3. 訪問入浴介護 (週 回) 4. 訪問リハビリテーション (週 回) 5. 通所介護 (週 回) 6. 通所リハビリテーション (週 回) 7. ショートステイ (過去1年間の利用 有・無) 8. 住宅改修 (これまでの利用 有・無) 9. 福祉用具のレンタル 10. その他 ( )</p>
<p>058 具体的なサービス内容</p> <p>1. 状態観察</p> <p>2. 呼吸ケア</p> <p>3. 栄養・食事</p> <p>4. 褥瘡等皮膚ケア</p> <p>5. 排泄ケア</p> <p>6. 服薬・注射に関すること</p> <p>7. 精神的サポート</p> <p>8. 疼痛緩和ケア</p> <p>9. 入浴</p> <p>10. 清拭</p> <p>11. リラックス・趣味</p> <p>12. 交流</p> <p>13. 休息</p> <p>14. 散歩など外出</p> <p>15. その他→具体的に</p>	<p>A. 訪問看護師が実施する 具体的な内容 ↓番号に○をつけてください。</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10</p> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p>
	<p>B. ヘルパーが実施する 具体的な内容 ↓番号に○をつけてください。</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10</p> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p>

ご協力ありがとうございました

## 生活実態調査（専門職記入分）

本調査票は、利用者（療養者）に関する客観的な状況について、専門職の方に記入をお願いするものです。

質問文を読み、当てはまる選択肢に○をつけてください。○をつける数は、質問文に記載していますが、特に記載がない場合は、1つに○を付けてください。

設問によっては、具体的な内容や数字を記入していただく部分もあります。本調査は特に断りがない限り、記入日時点の状況についてご記入ください。

本調査は無記名式としており、記入者は特定されません。また、ご記入いただいた内容については、個人が特定されない形で分析され、公表される予定です。

◆お問合せ先◆  
財団法人日本訪問看護振興財団 研究担当 佐藤、佐々木  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5 階  
電話 03-5778-7004（直通）FAX03-5778-7009

記入者	1. 訪問看護師 2. その他 ( )
記入日	( ) 月 ( ) 日

### 1. まず、記入日時点での療養者の心身の状態をお伺いします。

Q1 年齢	( ) 才	Q2 性別	1. 男性 2. 女性
Q3 病名	( )		
Q4 直近の入院 (過去3年以内)	1. なし 2. あり→平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日～ 平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日		
Q5 直近の入院の 目的	1. 常時、医学的管理が必要になった 2. 合併症 3. ケア方法の変更 4. レスパイト 5. 介護者の都合（冠婚葬祭、病氣、事故等） 6. その他 ( )		
Q6 現在の医療機 関の利用状況	1. 通院している 2. 住診してもらっている 3. 特に医療機関は利用していない 具体的に：		
Q7 使用している 医療機器			
Q8 介助の必要度	1. 介助は特に必要ない 2. 生活の一部に介助、手助けが必要である 3. 生活のほぼ全てに介助、手助けが必要である		
Q9 介護者との同居の有無	1. 同居している 2. 同居していない		
Q10 要介護度	1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3 4. 要介護4 5. 要介護5 6. 要支援 7. なし		
Q11 身体障害者手帳の有無	1. あり ( ) 級 2. なし		

2. 医療の状況、身体の状況と日常生活動作の状況についてお伺いします

Q12 呼吸管理	1. 侵襲 2. 非侵襲 3. なし
Q13 人工呼吸器の装着時間(複数回答可)	1. 2. 4時間装着 2. 離脱可能(離脱時間: 分) 3. 苦しいときのみ装着 4. 寝るときのみ装着 5. なし
Q14 食事	1. 経管栄養 2. 経管栄養と経口摂取 3. 流動食 4. 軟食・きざみ食 5. 普通食
Q15 排便介助	1. オムツのみ 2. オムツと便器 3. ポータブルトイレ 4. 介助でトイレに行く 5. 独力で普通にする
Q16 排尿介助	1. バルン留置 2. オムツ 3. 尿器使用 4. ポータブルトイレ 5. 介助でトイレに行く 6. 独力で普通にする
Q17 排便の状況	1. 便秘 2. 宿便 3. 下痢 4. その他の問題 ( ) 5. 問題なし
Q18 排尿の状況	1. 頻尿 2. 排尿痛 3. 乏尿 4. その他の問題 ( ) 5. 問題なし
Q19 起立・歩行	1. 不可能 2. かなりの介助を要す 3. ころうじて可能 4. 出来るが、遅い 5. 独力で普通にする
Q20 座位保持	1. 不可能 2. 可能 (→ 時間 分)
Q21 行動範囲	1. ベッド上のみ 2. 車椅子に座る 3. 外に出られる 4. 病院受診ができる 5. 旅行ができる
Q22 入浴	1. 清拭のみ 2. 入浴車 3. シャワー浴 4. 介助で入浴 5. 普通にできる
Q23 更衣	1. 全介助 2. 一部介助 3. 自立
Q24 整容	1. 全介助 2. 一部介助 3. 自立
Q25 コミュニケーション	1. 全く意思疎通できない 2. おおむね意思疎通できる 3. ほぼ意思疎通できる 4. 十分意思疎通できる
Q26 コミュニケーション手段	1. なし 2. まばたき文字板使用 3. コミュニケーションボード・ワープ使用 4. 筆談 5. 会話可能 6. その他 ( )
Q27 緊急時への備え・準備していること(複数回答可)	1. 介護者が蘇生術を身に付ける 2. 電源確保・自己発電機の準備 3. 予備の機器の準備 4. アンビュバッグの準備 5. 二重モニター 6. アラーム作動時の対応方法の習熟 7. 緊急連絡網の準備 8. その他 ( )

3. 利用中のサービスについてお伺いします

Q28 サービスの利用状況(利用しているサービスの番号に○をつけ、1.~6.については今月の利用頻度を記入してください。7.は過去1年間の利用の有無 8.はこれまでの利用の有無)	1. ホームヘルプ(訪問介護) 2. 訪問看護 3. 訪問入浴介護 4. 訪問リハビリテーション 5. 通所介護 6. 通所リハビリテーション 7. ショートステイ 8. 住宅改修 9. 福祉用具のレンタル 10. その他 ( )	(週 回) (週 回) (週 回) (週 回) (週 回) (週 回) (過去1年間の利用 有・無) (これまでの利用 有・無)
Q29 具体的なサービス内容	A. 訪問看護師が実施する 具体的な内容 ↓番号に○をつけてください。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	B. ヘルパーが実施する 具体的な内容 ↓番号に○をつけてください。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14
1. 状態観察	1	1
2. 呼吸ケア	2	2
3. 栄養・食事	3	3
4. 褥瘡等皮膚ケア	4	4
5. 排泄ケア	5	5
6. 服薬・注射に関すること	6	6
7. 精神的サポート	7	7
8. 疼痛緩和ケア	8	8
9. 入浴	9	9
10. 清拭	10	10
11. リラックス・趣味	11	11
12. 交流	12	12
13. 休息	13	13
14. 散歩など外出	14	14
15. その他→具体的に		

ご協力ありがとうございました。



## 生活実態調査(ニーズ調査・本人記入分)

質問文を読み、当てはまる選択肢に○をつけてください。○をつける数は、質問文に記載していますが、特に記載がない場合は、1つに○を付けてください。

設問によっては、具体的な内容や数字を記入していただく部分もあります。本調査は特に断りがない限り、記入日時点の状況についてご記入ください。本調査は無記名式となっております。記入者は特定されません。また、ご記入いただいた内容については、個人が特定されない形で分析され、公表される予定です。

なお、本調査に協力できない場合は、記入せずに調査票を破棄していただいても結構ですし、その旨の連絡も不要です。可能であればご協力ください。

◆お問合せ先◆  
財団法人日本訪問看護振興財団 研究担当 佐藤、佐々木  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5階  
電話 03-5778-7004 (直通) FAX03-5778-7009

記入者	1. 本人	2. 介護者	3. 訪問看護師	4. その他 ( )
記入日	( )	月	( )	日

### ◆◆ 1. まず、ご自身の生活の状況についてお伺いします ◆◆

01 現在、外出・趣味等の生活上の楽しみはありますか。具体的に教えてください。	1. 特にない 2. ある→具体的に: [ ]
02 在宅生活を開始したころの在宅生活への意欲の有無	1. 当初から在宅での生活をしかかった 2. 当初は在宅での生活をしたくなかった →その理由: [ ]
03 現在は、在宅生活をどのようにとらえていますか	1. 在宅での生活を継続したい 2. 入院・入所したい
04 病気や生活についての相談相手はいますか。(全てに○)	1. 家族介護者 2. 介護者以外の家族 3. 医師 4. 看護師 5. 保健師 6. ヘルパー 7. 同じ病気を介護する家族 8. 友人 9. その他 ( ) 10. いない
05 在宅療養において経済的負担の有無	1. 特に負担ではない 2. 在宅療養は経済的に負担である →具体的に: 3. 分からない

### ◆◆ 2. 次に、介護者についてお伺いします ◆◆

06 介護者に対して思うこと(最も強い気持ち1つだけに○)	1. ありがたい 2. 申し訳ない 3. もう少し分かかって欲しいことがある→具体的に [ ] 4. その他→具体的に [ ]
07 介護者の介護技術について、感じる点	1. 満足している 2. もう少しうまくなくて欲しいことがある→具体的に [ ]
08 介護者の医療機器の取り扱いについて	1. 満足している 2. もう少しうまくなくて欲しいことがある→具体的に [ ]

◆◆ 4. 最後に、現在、困っていることについてお伺いします ◆◆

Q13 症状の変化や今後に対する不安の有無	1. 今後のことについて不安は非常に大きい 2. 今後のことについて不安はある 3. 今後のことについてあまり不安はない 4. 今後のことについて不安はない
Q14 在宅療養をめぐる他の家族・親戚との関係(価値観、意見の相違や不和の有無)	1. 在宅療養の継続について、家族と意見が異なる 2. 在宅療養の継続について、家族と意見が一致している 具体的に:
Q15 現在、利用しているサービスで、もっと多く利用したいサービス	1. サービスを提供できる人が少ない 2. 経済的な理由で、利用回数(時間)が制約される 3. その他→具体的に: [ ]
S0 上記のサービスが利用できない理由(複数回答可)	具体的に: [ ]
Q16 今は利用していないが、利用したいサービス	1. 近くにサービスを提供している人がいない 2. 経済的な理由で、利用しにくい 3. その他→具体的に: [ ]
S0 上記のサービスが利用できない理由(複数回答可)	具体的に: [ ]
Q17 その他、ご自身の病気や生活について、思うことがあれば、ご自由にご回答ください	

ご協力ありがとうございました

◆◆ 3. 利用中のサービスの評価をお伺いします ◆◆

Q9 かかりつけ医についての評価	1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に: [ ]
Q10 短期入院・短期入所の受け入れ先についての評価	1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に: [ ]
Q11 訪問看護師についての評価	1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に: [ ]
Q12 ホームヘルパーについての評価	1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に: [ ]

## 生活実態調査 (介護者調査)

質問文を読み、当てはまる選択肢に○をつけてください。○をつける数は、質問文に記載していますが、特に記載がない場合は、1つに○を付けてください。

設問によっては、具体的な内容や数字を記入していただく部分もあります。本調査は特に断りがない限り、記入日時点の状況についてご記入ください。本調査は無記名式となっております、記入者は特定されません。また、ご記入いただいた内容については、個人が特定されない形で分析され、公表される予定です。

なお、本調査に協力できない場合は、記入せずに調査票を破棄していただいで結構ですし、その旨の連絡も不要です。可能であれば協力ください。

◆お問合せ先◆  
財団法人日本訪問看護振興財団 研究担当 佐藤、佐々木  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル5階  
電話 03-5778-7004 (直通) FAX03-5778-7009

記入者	1. 本人 2. その他 ( )
記入日	( ) 月 ( ) 日

### 1. まず、介護者の心身の状態をお伺いします。

Q1 年齢	( ) 才	Q2 性別	1. 男性 2. 女性
Q3 続柄	1. 親 2. 配偶者 3. 子 4. 子の配偶者 5. きょうだい 6. その他 ( )		
Q4 病気の有無	1. あり ( ) 2. なし		
Q5 要介護度	1. 要介護1 2. 要介護2 3. 要介護3 4. 要介護4 5. 要介護5 6. 要支援 7. なし		
Q6 疲労感	1. 非常に疲労感がある 2. 疲労感がある 3. なし		
Q7 負担感	1. 非常に負担である 2. 負担がある 3. なし		
Q8 平均睡眠時間	1日 ( ) 時間 ( ) 分		
Q9 直近のレスパイト	1. なし 2. あり→平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日		

### 2. 次に、介護者の生活の状況についてお伺いします。

Q10 就労の有無	1. 無職 (介護に関係なく無職) 2. パートタイム就労 3. 介護のために退職した 4. 1日8時間以上の勤務(会社員・自営業等)
Q11 在宅療養において経済的負担の有無	1. 特に負担ではない 2. 在宅療養は経済的に負担である (→具体的に: )
Q12 療養者の病気や生活についての相談相手はいますか。(全てに○)	1. 療養者 2. 家族 3. 医師 4. 看護師 5. 保健師 6. ヘルパー 7. 同じ病気を介護する家族 8. 友人 9. その他 ( ) 10. いない

### 3. 介護の状況についてお伺いします。

Q13 1日の介護時間	1日 ( ) 時間 ( ) 分
Q14 夜間介護の必要性	【内訳】 ① 吸引 ( ) 時間 ( ) 分 ② 食事 ( ) 時間 ( ) 分 ③ 排泄 ( ) 時間 ( ) 分 ④ 清拭・入浴 ( ) 時間 ( ) 分 ⑤ 更衣・整容 ( ) 時間 ( ) 分 ⑥ 会話・コミュニケーション ( ) 時間 ( ) 分 ⑦ その他 ( ) 時間 ( ) 分 1. 夜間は介護を行っていない 2. 夜間も介護を行っている (→具体的に: )
Q15 1日の自由時間	1日 ( ) 時間 ( ) 分
Q16 介護を精神的にサポートしてくれる人	1. いない 2. いる (→具体的に: )
Q17 介護を実際に手伝ってくれる人	1. いない 2. いる (→具体的に: )
Q18 自分の介護技術について感じる事	具体的に: ( )
Q19 医療機器の扱いの習熟について	具体的に: ( )
Q20 今後の在宅介護の意向	1. 今後もできるだけ在宅での生活を継続させたい 2. 入院・入所させたい

4. 利用中のサービスについて、介護者からみた評価を教えてください。

<p>Q21 かかりつけ医についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に：</p>
<p>Q22 短期入院・短期入所の受け入れ先についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>
<p>Q23 訪問看護師についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>
<p>Q24 ホームヘルパーについての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>

5. 現在、困っていることについてお伺いします。

<p>Q25 症状の変化や今後に対する不安の有無</p>	<p>1. 今後のことについて不安は非常に大きい 2. 今後のことについて不安はある 3. 今後のことについてあまり不安はない 4. 今後のことについて不安はない</p>
<p>Q26 在宅療養をめぐる他の家族・親戚との関係(価値観、意見の相違や不和の有無)</p>	<p>1. 療養者の在宅療養の継続について、家族と意見が異なる 2. 療養者の在宅療養の継続について、家族と意見が一致している 具体的に：</p>
<p>Q27 現在、利用しているサービスで、もっと多く利用したいサービス</p>	<p>具体的に：</p>
<p>S0 上記のサービスが利用できない理由(複数回答可)</p>	<p>1. サービスを提供できる人が少ない 2. 経済的な理由で、利用回数(時間)が制約される 3. その他→具体的に：</p>
<p>Q28 今は利用していないが、利用したいサービス</p>	<p>具体的に：</p>
<p>S0 上記のサービスが利用できない理由(複数回答可)</p>	<p>1. 近くにサービスを提供している人がいない 2. 経済的な理由で、利用しにくい 3. その他→具体的に：</p>
<p>Q29 その他、療養者の病気や、ご自身の生活について、思うことがあれば、ご自由に回答ください</p>	<p>具体的に：</p>

ご協力ありがとうございました



2. 医療の状況、身体の状態と日常生活動作の状況についてお伺いします

012 呼吸管理	1. 侵襲 2. 非侵襲 3. なし
013 人工呼吸器の装着時間 (複数回答可)	1. 2. 4時間装着 2. 離脱可能(離脱時間: 分) 3. 苦しいときのみ装着 4. 寝るときのみ装着 5. なし
014 食事	1. 経管栄養 2. 経管栄養と経口摂取 3. 流動食 4. 軟食・きざみ食 5. 普通食
015 排便介助	1. オムツのみ 2. オムツと便器 3. ポータブルトイレ 4. 介助でトイレに行く 5. 独力で普通にする
016 排尿介助	1. バルン留置 2. オムツ 3. 尿器使用 4. ポータブルトイレ 5. 介助でトイレに行く 6. 独力で普通にする
017 排便の状況	1. 便秘 2. 宿便 3. 下痢 4. その他の問題 ( ) 5. 問題なし
018 排尿の状況	1. 頻尿 2. 排尿痛 3. 乏尿 4. その他の問題 ( ) 5. 問題なし
019 起立・歩行	1. 不可能 2. かなりの介助を要す 3. かるうじて可能 4. 出来るが、遅い 5. 独力で普通にする
020 座位保持	1. 不可能 2. 可能 (→ 時間 分)
021 行動範囲	1. ベッド上のみ 2. 車椅子に座る 3. 外に出られる 4. 病院受診ができる 5. 旅行ができる
022 入浴	1. 清拭のみ 2. 入浴車 3. シャワー浴 4. 介助で入浴 5. 普通にできる
023 更衣	1. 全介助 2. 一部介助 3. 自立
024 整容	1. 全介助 2. 一部介助 3. 自立
025 コミュニケーション	1. 全く意思疎通できない 2. おおむね意思疎通できる 3. ほぼ意思疎通できる 4. 十分意思疎通できる
026 コミュニケーション手段	1. なし 2. まばたき文字板使用 3. コミュニケーション・グループの使用 4. 筆談 5. 会話可能 6. その他 ( )
027 緊急時への備え・準備していること (複数回答可)	1. 介護者が蘇生術を身に付ける 2. 電源確保・自己発電機の準備 3. 予備の機器の準備 4. アビエハット等の準備 5. 二重モニター 6. フラーム作動時の対応方法の習熟 7. 緊急連絡網の準備 8. その他 ( )

3. 利用中のサービスについてお伺いします。

028 サービスの利用状況 (利用しているサービスの番号に○をつけ、1.~6.については今月の利用頻度を記入してください。7.は過去1年間の利用の有無、8.はこれまでの利用の有無)	1. ホームヘルプ (訪問介護) 2. 訪問看護 3. 訪問入浴介護 4. 訪問リハビリテーション 5. 通所介護 6. 通所リハビリテーション 7. ショートステイ 8. 住宅改修 9. 福祉用具のレンタル 10. その他 ( )	(週 回) (週 回) (週 回) (週 回) (週 回) (週 回) (過去1年間の利用 有・無) (これまでの利用 有・無)
029 具体的なサービス内容	A. 訪問看護師が実施する具体的な内容 ↓番号に○をつけてください。 1. 状態観察 2. 呼吸ケア 3. 栄養・食事 4. 褥瘡等皮膚ケア 5. 排泄ケア 6. 服薬・注射に関すること 7. 精神的サポート 8. 疼痛緩和ケア 9. 入浴 10. 清拭 11. リラックス・趣味 12. 交流 13. 休息 14. 散歩など外出 15. その他→具体的に	B. ヘルパーが実施する具体的な内容 ↓番号に○をつけてください。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14
030 普段受けている在宅サービスと通所の連携状況	1. ケアマネジャーが主に調整する 2. 訪問看護師が主に調整する 3. 通所先の看護師が主に調整する 4. その他 ( ) が主に調整する	

ご協力ありがとうございました。

# 通所・短期入所調査（ニーズ調査・本人記入分）

質問文を読み、当てはまる選択肢に○をつけてください。○をつける数は、質問文に記載していますが、特に記載がない場合は、1つに○を付けてください。設問によっては、具体的な内容や数字を記入していただく部分もあります。本調査は特に断りがない限り、記入日時点の状況についてご記入ください。本調査は無記名式となっており、記入者は特定されません。また、ご記入いただいた内容については、個人が特定されない形で分析され、公表される予定です。なお、本調査に協力できない場合は、記入せずに調査票を破棄していただいても構いません。その旨の連絡も不要です。可能であればご協力ください。

◆お問合せ先◆  
財団法人日本訪問看護振興財団 研究担当 佐藤、佐々木  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5階  
電話 03-5778-7004（直通）FAX03-5778-7009

記入者	1. 本人 2. 介護者 3. 看護師 4. その他 ( )
記入日	( ) 月 ( ) 日

## ◆◆ 1. まず、普段のご自身の生活の状況についてお伺いします ◆◆

Q1 現在、外出・趣味等の生活上の楽しみはありますか。具体的に教えてください。	1. 特にな 2. ある→具体的に: [ ]
Q2 在宅生活を開始したころの在宅生活への意欲の有無	1. 当初から在宅での生活をしたかった 2. 当初は在宅での生活をしたくなかった →その理由: [ ]
Q3 現在は、在宅生活をどのようにとらえていますか	1. 在宅での生活を継続したい 2. 入院・入所したい
Q4 病気や生活についての相談相手はいですか。(全て○)	1. 家族介護者 2. 介護者以外の家族 3. 医師 4. 看護師 5. 保健師 6. ヘルパー 7. 同じ病気を持つ友人 8. その他の友人 9. その他 ( ) 10. いない
Q5 在宅療養において経済的負担感の有無	1. 特に負担ではない 2. 在宅療養は経済的に負担である (→具体的に: 3. 分からない

## ◆◆ 2. 次に、通所の利用状況をお伺いします ◆◆

※通所サービスを利用していない場合は、3. に進んでください。

Q6 通所の頻度	1. 利用していない 2. 月に ( ) 回程度
Q7 通所の目的	1. 社会参加・楽しみ 2. 生活のリズム・健康管理 3. 入浴・食事等日常生活の介護 4. 機能訓練 5. 介護者の負担軽減 6. 介護者の都合 (冠婚葬祭、病気等) 7. その他 ( )
Q8 通所中の家族による介護について	1. 特に何もしない 2. 一部、家族が介護を行う →具体的に: [ ]
Q9 通所すると、心身に変化が生じますか。	1. 身体が元気になる、調子がよくなると思う 2. 気分がよくなる、精神的に調子がよくなると思う 3. 特に変化はないと思う 4. その他の変化がある→具体的に: [ ]
Q10 通所による社会関係・交流範囲の変化	具体的に: [ ]
Q11 通所があることで、在宅生活の継続の気持ちに変化はあると思いますか	1. 通所サービスがなかったら、在宅生活継続は難しいと思う 2. もっと、通所サービスがあったら、在宅生活継続ができると思う 3. 特に変化はないと思う
Q12 通所についての経済的負担感の有無	1. 特に負担ではない 2. 通所は経済的に負担である →具体的に: [ ]
Q13 通所についての全体的な評価を教えてください。	1. とてもよい 2. まあまあよい 3. どちらともいえない 4. あまりよくない 5. とてもよくない

◆ ◆ 3. 次に、短期入所の利用状況をお伺いします ◆ ◆

※短期入所サービスを利用していない場合は、4. に進んでください。

014 短期入所の頻度	1. 利用していない 2. 1月に ( ) 回程度 3. 2~3か月1回程度 4. 4~6か月1回程度 5. 半年に1回以下
015 短期入所の目的	1. 社会参加・楽しみ 2. 生活のリズム・健康管理 3. 入浴・食事等日常生活の介護 4. 機能訓練 5. 介護者の負担軽減 6. 介護者の都合 (冠婚葬祭、病気等) 7. その他 ( )
016 短期入所中の家族による介護について	1. 特に何もしない 2. 一部、家族が介護を行う 〔→具体的に:〕
017 短期入所すると、心身に変化が生じますか。	1. 身体が元気になる、調子がよくなると思う 2. 気分がよくなる、精神的に調子がよくなると思う 3. 特に変化はないと思う 4. その他の変化がある→具体的に 〔 〕
018 短期入所による社会関係・交流範囲の変化	具体的に: 〔 〕
019 短期入所サービスがあることで、在宅生活の継続の気持ちに変化はあると思いますか	1. 短期入所サービスがなかったら、在宅生活継続は難しいと思う 2. もっと短期入所サービスがあったら、在宅生活継続ができると思う 3. 特に変化はないと思う
020 短期入所についての経済的負担の有無	1. 特に負担ではない 2. 短期入所は経済的に負担である 〔→具体的に:〕 3. 分からない
021 短期入所についての全体的な評価を教えてください。	1. とてもよい 2. まあまあよい 3. どちらともいえない 4. あまりよくない 5. とてもよくない

◆ ◆ 4. 次に、介護者についてお伺いします ◆ ◆

022 介護者に対して思うこと (最も強い気持ち1つだけに○)	2. 申し訳ない 3. もう少し分かって欲しいことがある→具体的に 〔 〕 4. その他→具体的に 〔 〕
023 介護者の介護技術について、感じること	1. 満足している 2. もう少しうまくなくて欲しいことがある→具体的に 〔 〕
024 介護者の医療機器の取り扱いについて	1. 満足している 2. もう少しうまくなくて欲しいことがある→具体的に 〔 〕



◆ ◆ 5. 利用中のサービスの評価をお伺いします ◆ ◆

<p>Q25 かかりつけ医についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に：</p>
<p>Q26 訪問看護師についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>
<p>Q27 短期入院・短期入所の受け入れ先についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>
<p>Q28 ホームページについての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>

<p>Q29 通所先の看護師についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>
<p>Q30 通所先の介護職員についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>
<p>Q31 短期入所先の看護師についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>
<p>Q32 短期入所先の介護職員についての評価</p>	<p>1. 利用していない 2. 満足している 3. 改善の要望がある→具体的に</p>

◆◆ 6. 最後に、現在、困っていることについてお伺いします ◆◆

Q33 症状の変化や今後に対する不安の有無	1. 今後のことについて不安は非常に大きい 2. 今後のことについて不安はある 3. 今後のことについてあまり不安はない 4. 今後のことについて不安はない
Q34 在宅療養をめぐる他の家族・親戚との関係(価値観、意見の相違や不和の有無)	1. 在宅療養の継続について、家族と意見が異なる 2. 在宅療養の継続について、家族と意見が一致している 具体的に：
Q35 現在、利用しているサービスで、もっと多く利用したいサービス	1. サービスを提供できる人が少ない 2. 経済的な理由で、利用回数(時間)が制約される 3. その他→具体的に：
S0 上記のサービスが利用できない理由(複数回答可)	具体的に：
Q36 今は利用していないが、利用したいサービス	1. 近くにサービスを提供している人がいない 2. 経済的な理由で、利用しにくい 3. その他→具体的に：
S0 上記のサービスが利用できない理由(複数回答可)	具体的に：
Q37 その他、ご自身の病気や生活について、思うことがあれば、ご自由にご回答ください	

ご協力ありがとうございました

## 通所・短期入所調査 (介護者調査)

質問文を読み、当てはまる選択肢に○をつけてください。○をつける数は、質問文に記載していますが、特に記載がない場合は、1つに○を付けてください。

設問によっては、具体的な内容や数字を記入していただく部分もあります。本調査は特に断りがない限り、記入日時点の状況についてご記入ください。本調査は無記名式となっており、記入者は特定されません。また、ご記入いただいた内容については、個人が特定されない形で分析され、公表される予定です。

なお、本調査に協力できない場合は、記入せずに調査票を破棄していただいても結構ですし、その旨の連絡も不要です。可能であればご協力ください。

◆お問合せ先◆  
財団法人日本訪問看護振興財団 研究担当 佐藤、佐々木  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル5階  
電話 03-5778-7004 (直通) FAX03-5778-7009

記入者	1. 本人	2. その他 ( )
記入日	( ) 月 ( ) 日	

### 1. まず、介護者の心身の状態をお伺いします。

01 年齢	( ) 才	02 性別	1. 男性	2. 女性			
03 続柄	1. 親	2. 配偶者	3. 子	4. 子の配偶者	5. きょうだい	6. その他 ( )	
04 病気の有無	1. あり ( )	2. なし					
05 要介護度	1. 要介護1	2. 要介護2	3. 要介護3	4. 要介護4	5. 要介護5	6. 要支援	7. なし
06 疲労感	1. 非常に疲労感がある	2. 疲労感がある	3. なし				
07 負担感	1. 非常に負担である	2. 負担がある	3. なし				
08 平均睡眠時間	1日 ( ) 時間 ( ) 分						
09 直近のレスパイト	1. なし	2. あり	→ 平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日				

### 2. 次に、介護者の生活の状況についてお伺いします。

010 就労の有無	1. 無職 (介護に関係なく無職)	2. パートタイム就労	3. 介護のために退職した	4. 1日8時間以上の勤務(会社員・自営業等)						
011 在宅療養において経済的負担の有無	1. 特に負担ではない 2. 在宅療養は経済的に負担である (→具体的に: )									
012 療養者の病気や生活についての相談相手はいますか。(全てに○)	1. 療養者	2. 家族	3. 医師	4. 看護師	5. 保健師	6. ヘルパー	7. 同じ病気を介護する家族	8. 友人	9. その他 ( )	10. いない

### 3. 介護の状況についてお伺いします。

	1日 ( ) 時間 ( ) 分
【内訳】	
013 1日の介護時間	① 吸引 ( ) 時間 ( ) 分 ② 食事 ( ) 時間 ( ) 分 ③ 排泄 ( ) 時間 ( ) 分 ④ 清拭・入浴 ( ) 時間 ( ) 分 ⑤ 更衣・整容 ( ) 時間 ( ) 分 ⑥ 会話・コミュニケーション ( ) 時間 ( ) 分 ⑦ その他 ( ) 時間 ( ) 分
014 夜間介護の必要性	1. 夜間は介護を行っていない 2. 夜間も介護を行っている (→具体的に: )
015 1日の自由時間	1日 ( ) 時間 ( ) 分
016 介護を精神的にサポートしてくれる人	1. いない 2. いる (→具体的に: )
017 介護を実際に手伝ってくれる人	1. いない 2. いる (→具体的に: )
018 自分の介護技術について感じる点	具体的に: ( )
019 医療機器の扱いの習熟について	具体的に: ( )
020 今後の在宅介護の意向	1. 今後もできるだけ在宅での生活を継続させたい 2. 入院・入所させたい

